

パンクロック・スウラップ
木版画ワークショップ

Pangrok Sulap

Woodcut Party

in Minatomachi
/ 2023.5.13 Sat. /



マレーシアのサバ州ラナウを拠点に活動するアーティストグループ「パンクロック・スウラップ」による木版画ワークショップを開催します。彫刻刀で版木を彫り、楽器演奏に合わせて、持ち寄ったTシャツに作品を刷り上げます。

アーティスト、音楽家、社会活動家など多様なメンバーが集まるパンクロック・スウラップのみなさんと木版画を楽しみましょう！



日時 | 2023年 5月 13日 (土) 14:00-17:00 * 終了予定

会場 | 港まちポットラックビル

定員 | 先着 20 名 (要予約)

対象 | 10 歳以上 (10 歳未満は保護者同伴のうえ、見学と刷り体験の参加が可能です)

参加費 | 1,000 円 (ドリンク付) * 西築地学区にお住まいの方は無料

企画 | Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]

主催 | 港まちづくり協議会

協力 | のわ/パレル

予約はこちらから



* 港まちポットラックビル
受付でもご予約いただけます

参加者の持ち物

- ・印刷用の T シャツ (黒いインクで刷ります)
- ・彫刻刀 (こちらでも用意しますが、お持ちの方はご持参ください。)
- ・エプロンや着替え (木くずやインクが衣服につくことがありますので、気になる方はご持参ください。)

パンクロック・スウラップ Pangrok Sulap

2010年にサバ州ラナウ(マレーシア)で結成されたコレクティブ(活動集団)。名称は「パンクロック」と「農民の休憩小屋」を意味する語の組み合わせ。DIY精神を共有するアーティスト、音楽家、社会活動家など多様なメンバーで構成されている。インドネシアのパンクバンド、マージナルを通じて知り合ったジョグジャカルタの木版画集団タリン・パディのレジスタンス活動に影響を受け、2012年以降は木版画を用いて地域コミュニティやボルネオ島の先住民が直面する問題を描き、地域内外から注目を集める。日本での主な展示に「解/折邊界 亞際木刻版画實踐(脱境界: インターアジアの木版画実践)」(東京藝術大学美術館、東京、2023年)、「あいちトリエンナーレ 2019」(愛知県美術館、愛知、2019年)などがある。

www.pangroksulap.com

お問い合わせ

TEL | 052-654-8911 E-MAIL | info@mat-nagoya.jp
WEB | www.mat-nagoya.jp

アクセス

Minatomachi POTLUCK BUILDING

港まちポットラックビル

〒455-0037 名古屋港区名港 1-19-23

* 名古屋営地下鉄名港線「築地口駅」2番出口より徒歩1分

